

防府市文化協会だより

防府市文化協会
(防府市文化財郷土資料館 3F)
TEL/FAX 26-6841

平成30年度 総会

平成30年6月23日(土) 12:00～
アスピラートにて

平成三十年度 総会・創立二十周年記念祭

平成三十年六月二十三日(土) 十二時からアスピラート音楽ホールにて、防府市文化協会創立二十周年総会が盛大に開催されました。まず、はじめに岡本早智子会長より創立二十周年を迎えられてのご挨拶があり、平成二十九年度事業及び決算報告、平成三十年事業計画及び予算報告があり、会員にご承認を頂き無事終了した。



式典受付



記念式典



文化振興奨励賞表彰



池田市長挨拶



語り芝居



市民文芸賞表彰



お茶席



杉山一茂教育長様へ目録贈呈



龍美女太鼓による毛利水軍太鼓

創立二十周年記念事業を進めて来て

防府市文化協会 会長 岡本早智子

去る六月二十三日、アスピラートで、総会・記念祭を開催いたしました。記念祭では、就任されて間もない池田豊市長様をはじめ多数の御来賓、ご臨席の下に、記念式典と記念公演を行いました。参加者も約六百人に及び、とても有意義な記念祭となりました。これも偏に、当会役員及び会員の皆様のご協力の賜だと、心から感謝いたします。

当日、資料の中に入れた冊子『防府が生んだ自由律俳人山頭火』と『防府の民俗芸能をたずねて』も、記念事業として刊行したものです。前者は、「山頭火ふるさと館」が開館した好機に、一人でも多くの防府市民に種田山頭火を知って頂けるように、子どもから大人まで誰でも読める、誰にも役立つ本となる様に努めました。既に、市内小・中学校の全児童・生徒の皆さんには、この本を贈呈しましたが、どなたでも入手出来ます(一冊六百円)。地域で、家庭で、学校で、この本をとおして繋がり合い、ふるさと防府に、山頭火の新しい風を巻き起こして頂きたいのです。後者は、十年振りの改訂版です。継続が難しいと言われる民俗芸能の伝承ですが、防府市では、十年前に比べて団体数が増えています。これは、防府民俗芸能連盟及び民俗芸能に関心をもつ市民の皆様のご尽力の成果だと、深く敬意を表します。

これから来春までには、記念誌『防府市文化協会20年のあゆみ』の刊行を進めます。会員の皆さんの顔が見える記念誌を目指します。ご協力の程、よろしく願います。

平成二十九年年度 市民文芸表彰者

◎ 川柳の部

○市民文芸賞 迫戸町 佐藤 哲夫

○年度賞 鈴屋 江山 豊

敷山町 岡田 芳江

華城中央 藤井 絹枝

富海 重宗 隆治

◎ 俳句の部

○年度賞 高倉 新山王 哲

浜方 光井加代子

富海 入江 伸枝

国衙 田中 裕子

西浦 藤岡久美子

◎ 短歌の部

○市民文芸賞 鈴屋 山本 緑

○年度賞 大道 末永 敦子

大道 重田 二枝

富海 葦島美佐子

江川 詳子

◎ 自由律俳句

○市民文芸賞 桑南 西岡 悦子

○市民文芸賞 警固町 田中 里美

○年度賞 東三田尻 財間 香苗

奈美 松下 満江

桑南 佐伯 初枝

平成二十九年年度 市民文芸賞 講評

◎ 川柳

「また会おう軽い気持ちじゃ言えぬ年齢」

佐藤 哲夫

老いの心情が、痛いほど伝わる句です。年々老いるのは仕方のないことですが・・・久し振りに逢った同級生が、思いのほか老けていてびっくりすることがあります。友達に心配かけない様、心だけでも若く暮らしたいものです。

◎ 短歌

「名残り雪ふはりと舞ひ来れば曾孫は口で受けつつ走る」 山本 緑

上句に春の近づくさまを、下句にその具体を詠んでおられます。上句の「名残り雪」の情緒的な措辞。また「ふわりふわり」のオノマトペも景を視覚的に見せてくれます。下句は焦点をさらに絞り、足元に着く前に消える雪、口で追いつつ走る曾孫を描いています。作者共々近づく春の歓びを感じさせるいい歌です。

◎ 自由律俳句

「黄色のかさがジャンプしてとおりすぎる」 西岡 悦子

雨の日の登校時のことなのでしょう。

ふと、窓越しに外を見ると、黄色いかがが見えたり隠れたりしている。

庭の向こう、垣根越しに、子どもたちの姿は見えませんが、まるでかががピョンピョンと飛びはねているかのように、学校の方向に進んでいきます。

子どもたちのにぎやかな話し声とともに・・・

今年、小学校に入学されたお孫さんも、雨の中を元気に学校へ行っている

だろうかと思いつつ、目の前を通り過ぎる子どもたちに、「おはよう、気をつけていくのよ。」と声をかけているであろう、作者の笑顔が見えるようです。

やわらかく、おだやかな一句となりました。

「自分を両手で抱きしめる」

田中 里美

何かありましたか。

うれしいこと？悲しいこと？それとも、遠い宇宙のはてまで見渡しながら、

今、ここにある自分の存在がいとおしくて、自分を抱きしめたのでしょうか。

いえいえ、せつなくてせつなくて、たまらなかつたのかも知れませんが、

そうして乗り越えられたら、いろんな人の想いを抱きしめることができる

でしょう。

短いけれど、だからこそ、想像以上に多くの想いが込められているように感じます。

自分を思い切り抱きしめて、また明日から、たおやかに進んでいかれることでしょう。

「防府の生んだ

自由律俳人山頭火」

の発刊を記念して

山頭火ふるさと会

窪田 耕二

俳人としては松尾芭蕉に並ぶといわれるほど、全国に知名度を誇る自由律俳人種田山頭火の存在は、防府市の大きな文化遺産です。

防府市文化協会は、前身の昭和四十五年に創設された防府の文化を高める会時代より、顕彰活動にかかわってきています。

昭和四十七年十月十一日の三十三回忌に、八王子一丁目の山頭火生誕地跡に石碑を建立、昭和四十八年には、最初の小冊子を発行、昭和五十六年、五十九年、平成六年、十年、その後文化協会になってからの平成十八年と六版にわたって、文化顕彰活動の一環として小冊子を発刊しています。

平成二十九年十月七日に山頭火ふるさと館オープン、平成三十年六月に内容を一新してカラー版の「防府の生んだ自由律俳人 山頭火」という小冊子が発刊されました。

新しい小冊子では、魂の彷徨をしながら、大自然をテーマに、ふるさとを想い、家族を思い、さみしい、ひとり、あいたい、素直な気持ちを詠った心に響く、わかり易く、生きる元気を与えてくれる俳人山頭火の魅力が詰め込まれています。ぜひ、ご一読をお勧めします。

防府市文化協会創立二十周年記念祭において

感謝状の贈呈



松浦前市長に感謝状

岡本早智子会長より防府市文協会創立とともに歩んでこられた前市長松浦正人様に対して、感謝状と記念品が贈呈されました。

支援事業振興賞授与式

防府市文化協会市民文化活動支援事業部会深田慎治会長より、支援事業部の活動に賛同され、二十年間毎年会員となられた防府商工会議所、東山口信用金庫、山陽建設工業株式会社、株式会社ロータリーコーポレーションの四企業に感謝状と記念の植が贈られました。



(株)ロータリーコーポレーション様



山陽建設工業株式会社様



東山口信用金庫様



防府商工会議所様

文化振興奨励賞(個人の部)

民俗芸能



中村 ゆきえ

①昭和50年 防府まつりメインステージ歌手に抜擢。②昭和63年 防府商工会議所制作「ほうふ音響」メイン歌手となり、大村能幸まつり第一回から毎年ゲスト歌手③自身のオリジナル曲「佐波川雨情」をレコーディング「GOGO」ゆきえコンサート開催。④平成14年防府市観光協会観光宣伝隊広島で参加。防府にまつわる歌を紹介。⑤平成16年現在防府天満宮御誕辰祭「ゆかた&コンサートの」メイン歌手⑥平成26年大村能幸作曲「防府囃子」CDリリースの歌唱。防府民俗芸能連盟の創作民俗芸能「マンパ」として活躍。「ふるさと」歌手として、市内地域団体のテーマ曲、松崎地域ソング「笑顔の花束・華浦音頭」・中関地域「中関小唄」・「おいでませ私のおいでませ私のおいでませ」等数多く歌っている。平成28年山頭火の妻「サキノ」をテーマに「咲野花」を、山頭火全川フォーラムで発表。平成7年初レコーディングした「佐波川雨情」を歌い続け、22年。今後さらに「ふるさと防府」を歌を通して、ますます防府の文化振興へと展開していくよう願って推薦いたします。

生活文化(華道)



高橋 瑞峯

昭和45年4月防府高校勤務で華道二葉流に出会い、研鑽を重ねながら、華道部顧問として生徒の指導に当たる。昭和51年4月佐波高校、昭和63年4月再び防府高校華道部顧問。平成15年4月山口南総合支援学校にて生徒やPTAに指導。PTAは現在も指導。平成22年4月、防府高校華道部課外指導員として、部活動指導。平成28年1月二葉流山口県支部長、平成28年4月防府市華道連盟会長。防府市文化協会常任理事・理事を任務。協会より編集委員をつとめる。華道二葉流自由花師範、梅花師範取得。永年華道に尽力された功績は甚大で、高校に勤務の傍ら地域美化へのボランティアを続けられている。人も生徒や成人の方々への指導等、大変意義ある事だと思っております。行事も良いので人気のある指導者として、これからも精進されることでしょうか。

生活文化(茶道)



池田 初子

昭和25年習事相伝、昭和27年茶通雅。昭和29年唐物点前。昭和31年3月入門。昭和31年3月天台目。昭和41年3月盆点。昭和41年10月地方講師。昭和51年7月地方教授。松崎公民館の茶道講座講師として、平成2年より現在まで27年間指導され、多数の方を育成され、松崎地区の「ふれあいまつり」や文化祭に茶席を持ち、地区の方々の交流を深めたい。夏休みに子ども体験教室として、茶道の作法、飲み方など体験をおし抹茶茶道の美味しさ、楽しさを子どもと共有している。昭和25年頃より表流茶道に携わり色々な場で茶道を広めることに尽力され今日に至っている。

美術(写真)



鰐石 洋己

平成10年より防府市美術展連続出品。平成12年日韓親善文化交流芸術展連続出品。平成17年現在、防府市文化協会支那支部長として、永年貢献。平成24年現在、防府市文化協会支援事業部委員を就任。現在、防府市美術連盟常任理事、防府市日韓親善協会会長、防府市同窓会会長、フォトフレンド会会長、平成26年、平成27年、防府市文化協会理事に就任。防府市美術連盟の審査員としても活躍。また、日韓親善協会副会長として重責を担い、親族でもある防府市美術連盟初代会長鰐石俊男氏と同じく防府市及防府市の美術・文化の振興に寄せる深遠な思いから一貫して無私で献身的な従事を続けて来られたことに敬意を称します。

文化振興奨励賞(団体の部)

邦 楽(日本舞踊)



若柳吉冬貴の会

代表者 若柳吉冬貴
教場設立以来、会主(若柳吉冬貴)の巴満な人格と卓越した演技と優れた指導力のもと多くの子弟が集まり、熱心に修練を重ねて幾多の名匠を輩出し、市の恒例行事である邦楽の会、防府天満宮御誕辰祭における奉納、そして、市内外における文化事業等にも積極的に参加して成果を挙げ、多方面より感謝されている。市内における活躍はもとより、県内各地(山口、下関、岩国、柳井等)に支部教場を設け、相互に往来して日舞の普及発展に努める傍ら人間関係の醸成に努めている。会主は、防府市文化協会の常任理事であり、本会に所属する会員を文化協会会員に勧誘し、具現している。

歴史



防府歴史と考古学の会

代表者 長野 嘉久
昭和61年7月、山口県生涯教育「夏季高校開放講座」(防府)として、桑原邦彦先生による「防府歴史と考古学講座」が防府高校で始まったことをきっかけに発足。防府歴史と考古学の会は、発足以来長年にわたって、防府図書館、防府市文化財郷土資料館等の公共施設を主たる活動拠点として、歴史と考古学に係る月例学習会・公開講演会・研修旅行等を開催するとともに、年刊機関誌「歴史」を発行、また同書を毎回複数本にて防府図書館へ寄贈するなど、防府市の文化振興に多大の貢献をしている。

洋 舞



牟礼フォーダンス同好会

代表者 西山 晋
昭和55年6月1日にフォーダンスの普及活動として立ち上げる。通常の活動場所は、牟礼公民館。防府市文化を高める会から防府市民のため、25年間フォーダンス普及に尽力されている。この度防府市がホストタウンとして引き受けとなるセルビア共和国からセルビアローラ民族音楽舞踊団が来訪される事となり、学校とのふれあいを提案され、市・教育委員会及び文化協会との協働により実現されたことは、ダンス指導のみならず、若い世代との交流を大切に、国際交流を見据えた活動普及について評価するとともに、今後に大いに期待したい。

音 楽



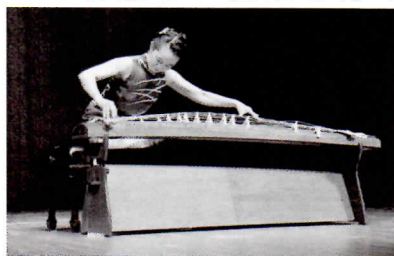
山口県立防府西高等学校吹奏楽部

代表者 伊藤 隆昌
平成21年、平成23年、平成29年度、全日本吹奏楽コンクール山口県大会高等学校A部門コンクール大賞(山口県知事賞)受賞。平成20年、平成29年度、全日本アンサンブルコンテスト山口県大会高等学校の部最優秀賞(山口県知事賞)受賞。大道まつり、大道地区敬老会、防府華樂苑防府演奏、防府市消防フェスタ、山口県介護フェスタに参加し、地域貢献。ボランティア活動等にも力を入れている。結成以来、本県の吹奏楽振興のけん引役として意欲的な演奏活動を展開し、各種コンクールでは、毎年ハイレベルの演奏を披露して、中国大会や全国大会にも出場するなど、県民や市民の音楽文化的向上発展に大きく寄与している。また、地域の各種行事等にも積極的に参加、「音楽による、まちづくり」にも多大な貢献をしている。

防府市文化協会総会・記念祭に出席して

岡田 芳江

平成29年度年度賞（川柳の部）の通知を驚いて受け取りました。表彰式は会社員時代の永年勤続表彰以来。やや緊張気味で会場に入りましたが年齢層の近い方が多く見受けられ気持ちよく楽になりました。第一部の記念式典も滞りなく終了。第二部の記念公演になりました。防府市出身の山野安珠美さんの箏の演奏に魅了されました。座る、立ち上がる、歩く姿がとてもエレガント。美しい姿勢で奏でる一音一音が水滴が地面を潤す様に、私の心の奥底に染み込みました。箏曲が好きだった亡母との思い出が蘇り胸が熱くなった感動的な時間でした。いつの時代にも表舞台で活躍する人と支える人達が居ます。高杉晋作と支えた野村望東尼。どの様に演じるのか興味津々でした。舞台上に登場した岩城朋子さんの凛とした立ち姿、表情、所作、迫力あるセリフ。又、亀田真砂子さんの穏やかな語りにも聞き入り時を忘れる様でした。本番の集中力に驚嘆し、修練の道のりに思いを馳せました。今回プロの方々、地元の方々の圧倒的な表現力に触れ、充実感溢れる一日でした。又、書家の先生の手による受賞作の色紙は大変嬉しい記念の品になりました。この度の受賞を励みに致します。関係者の皆様方に感謝を申し上げます。



山野安珠美さん

松崎小学校児童による山頭火

自由律俳句朗詠に参加して

わたしは、「防府市文化協会創立二十周年記念祭」で山頭火自由律俳句の朗詠に参加しました。松崎小学校九名で参加しました。

発表に向けて、昼休みを使って九名が一生懸命に練習してきました。練習では、自分の順番を間違えたり上手く読めなかったりしましたが、みんなで考えたり教え合ったりしました。

練習を重ねていくうちに、みんなが上手になっていったので、求められるレベルが上がってきました。ただ言えたらいいだけではなく、大きな声とともに抑揚も考えるようになってきました。先生に、「どこを一番大切に大きく言いたいですか。」と聞かれると、みんな考えて、「〜が大きい」といいます。

わたしは、発表を通して松崎小を卒業した種田山頭火の自由律俳句をたくさん知ることができました。六年生であるわたしにとつて、とても貴重で思い出に残る経験となりました。この経験を生かし、これからもいろいろなことチャレンジしていこうと思います。



松崎小学校児童

語り芝居「高杉晋作と望東尼

そして幕末維新の防府」を鑑賞して

坪郷 好夫

防府市文化協会創立二十周年記念公演があり、語り芝居「高杉晋作と望東尼」そして幕末・維新の防府」が上演された。私は、鑑賞のポイントとして、平尾山荘にかくまわれていた時、功山寺の決起、姫島(福岡県)への流罪、望東尼救出作戦、下関白石正一郎宅での高杉晋作との再会と別れ、防府での望東尼の姿等を中心に鑑賞した。亀田さんのすき透る声でのナレーションと時代の流れがわかりやすく説明されていた。それとコラボして岩城さんが登場人物を演じられ、心にインパクトを与えてくれたと思う。芝居の山場として、望東尼を姫島の獄舎から救出し、白石宅で高杉晋作と望東尼のやりとりの一句晋作が病氣療養中に「おもしろきこともなき世におもしろく」と高杉が上の句を読み、望東尼が「すみなすものは心なりけり」と下の句を読み病床の高杉へ「あなたはその体でよくここまで頑張ってきましたね」とねぎらった。この場面は、熱演され、鑑賞者に印象を与えたと思う。防府での望東尼については、天満宮へ七日間毎日参詣して、一日一首の和歌を奉納して薩長軍の戦勝を祈願し、小田港へ薩長軍の船は来ていないかを案じながら明治維新の足音聞きながら六十二才の生涯を終わられた。このことが芝居を通して強く心に残った。「冬ごもり くらえくらえ一時の花咲きみてる春はくるらし」



岩城朋子さん 亀田真砂子さん

華浦音頭振興会の活動

会長 青木 明夫

防府市文化協会創立二十周年おめでとうござい
ます。今後も文化・芸術活動に期待しています。

私ども「華浦音頭振興会」は平成16年よりスタ
ト致しました。活動歴は14年と浅く今後どのよう
にしてこの振興会を継続してゆくのか手探りの現
状ですが、今所属しているメンバーの方、華浦地
域自治会連合会、社会福祉協議会、これらの皆様
の力と知恵をお借りしながら今後に繋げて参りた
いと思っています。

「華浦音頭」を紹介させていただきますと、歌
詞には今では懐かしい「鞠生松原・野村望東尼・
来目皇子・越氏塾・河野養哲・三田尻塩田」など
の名所旧跡も織り込み最後は「みんな笑顔で渡る
希望の虹の橋」と締めくくり、三田尻地区の活性
化等、未来への思いを込めたものになっておりま
す。

私ども振興会の活動内容で
すが、毎年華浦小学校に入学
した新一年生の児童たちに「華
浦音頭」の振り付け（踊り）を
教えに行っております。華浦小
学校全児童が踊れるように指
導しております。小学生も交
えて華浦地区盆踊り、華浦小
学校運動会、華浦地区敬老会、
文化祭、地区イベント等で地
区住民の方にも参加いただき
披露しております。「華浦音頭
振興会」が「華浦音頭保存会」
の名称になるよう努力します。



子どもたちによるお茶席に参加して

山本百次会子ども組 代表 稲田布佐子

この度は、文化協会創立二十周年、おめでとうご
ざいます。また、記念祭のお茶席に子ども達を参加
させて頂き、ありがとうございます。

初めての会場でしたので、子ども達は少し緊張気
味でしたが一生懸命お菓子やお茶を運んでくれてい
ました。

「よく、いらっしやいました。」

「どうぞ、ごゆっくり。」

子ども達の元気なおもてなしのご挨拶、いかがで
したでしょうか。

お客さまに喜んで頂くために、

○お客さまの目を見て笑顔でご挨拶をする。

○丁寧な動作で気持ちをあらわす。

この二つをがんばることにしていましたので、学校
の先生や知っている方にお茶を運んだ後、ステキな
笑顔で戻ってきたのは、きつとう
れしい言葉をかけてもらったから
だと思えます。

保育園の年長さんから高校生ま
での十八人が、伝統文化である茶
道を学ぶ上で大切な「相手を思い
やる」という事を、それぞれがしつ
かりと考え体験できたことは本当
にすばらしいことでした。これか
ら子ども達が色々な体験を通し
て、伝統文化をいつも身近に感じ
られるように寄り添っていきたく
いと思えます。ご協力頂いたたくさ
んの方々には心より感謝申し上げま
す。



新書「防府が生んだ

自由律俳人 山頭火」

販売所紹介

防府市文化協会が創立二十周年記念に
あわせて、「防府が生んだ自由律俳人 山
頭火」を発行致しました。山頭火の生涯
は旅の中から多くの自由律俳句を詠んで
おり、ふりがなや註釈をつけ、日本地図
に山頭火の旅程とともに自由律俳句を紹
介し、山頭火とともに旅をしながら、自
由律俳句にも親しんでいただけるよう子
どもから大人まで、気軽に読んでいただ
けるように工夫しております。

お求めされる場合は、防府市文化協会・
山頭火ふるさと館・アスピラート・デザ
インプラザHOFUで、一冊六百円で販
売致しております。



「防府の民俗芸能をたずねて」

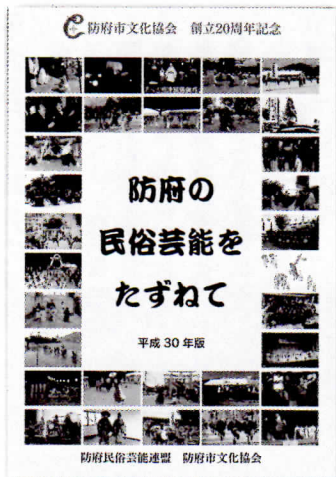
発刊に寄せて

防府民俗芸能連盟会長 桑原一朗

防府民俗芸能連盟はこれまで、防府の文化を高める会十周年記念に初版を発刊し、以後最初は五年毎に再版し、第三版から十年目に、防府市文化協会二十周年記念事業の一環として、市民文化活動支援事業部からの助成を受け、新しくカラー版で刊行出来ました。

今回は、連盟加入団体のみならず各地域公民館のお力も借りて、連盟未加入でも、各地域に伝わる民俗芸能について多く掲載する事が出来、歓びに堪えませんが、加盟団体には勿論の事、文化協会二十周年記念祭では、ご出席の皆様にお配りする事が出来ました。

今後は、防府の民俗芸能を市外県外にも発信すべく、関係団体や、興味を持って下さる方々にもお配りしたいと思っています。



市民文化活動支援事業部紹介

防府市文化協会支援事業部会では、防府市内に所在する企業、個人等（防府市内に在住する防府出身者を含む）が参加して結成する組織で、防府市内で実施する文化・芸術等の活動を支援し、市民の文化・芸術等の活動を支援し、市民の文化・芸術の向上を図るとともに、潤いのあるまちづくりに貢献することを目的としています。

対象は、防府市に在住する団体及び個人が、防府市で開催する文化・芸術等の活動に対する助成を行います。

申請期間は、6月末と11月末の年2回です。審査は、市民文化活動支援事業部会委員により、7月と12月にあります。指定の申請書がありますので、希望される場合は、防府市文化協会事務局まで、お気軽にお立ち寄りください。

平成三十年度第一回支援事業部審査結果

防府市文化協会支援事業部第一回審査会が、平成三十年七月十八日（水）十三時三十分参考室で行われました。

(1) 平成三十年度 申請第一号
HCBカウントエース
創立五十周年記念コンサート
助成決定額…十万円

(2) 平成三十年度 申請第二号
防府マンドリン・ギターアンサンブル
第二十回定期演奏会
助成決定額…五万円

市民文化活動支援事業ご助成を頂いて

防府天満宮お手廻り保存会

会長 田中信治

防府市文化協会設立二十周年を迎えられましたことを心よりお祝いを申し上げます。設立以来、防府市の文化・芸術活動の振興・発展に貢献されてこられましたこと、伝統文化を継承する者として、改めて感謝とお礼を申し上げます。

当会は、防府天満宮の「花神子社参式」及び「御神幸祭」に奉仕しております。防府市は山陽道が東西に延び、江戸時代には九州の諸大名、また毛利の殿様が参勤交代の際必ずお通りになられる場所で数百名のお供を引き連れ江戸に赴く際、行列で殿様の護衛をする「手廻り」という役が、道具持ちの交代をする所作「奴振り」で地域の人々を楽しませたようでございます。その歴史的背景・文化を後世に伝える為に地域の神社（防府天満宮）にその伝統文化を長く伝承して参りました。

この度、防府市文化協会様より、伝統文化を後世に伝承する重要性をご理解頂き、お手廻りの諸役の花形である「弓」の道具購入資金の助成を頂きましたこと、会員一同大変感謝いたしております。これを励みに、このお手廻りの伝統文化継承に精進いたし、防府市の観光・伝統文化の一助となるよう会員一同、行事や技術の継承に取り組んで参ります。



明治維新百五十年事業と文化協会の関わり

防府市明治維新百五十年推進協議会

副会長 岡本早智子

昨年度から、標記事業の企画・実施を順調に進めるために設置された、右記協議会の副会長となつている私から、今年が旬の標記事業の中で、文化協会のみなさまにご協力いたゞいている主な事業をご紹介します。

〔事業名〕講演会・企画展の開催

(各団体による明治維新百五十年をテーマの講演等)

○防府史談会主催講演会

●「大村益次郎と石州口の戦い」

6月2日、於防府市立図書館、46人

●「(仮称)芸州口の戦い」

1月頃、於防府市立図書館

○防府市文化協会創立二十周年記念祭の中の記念公演

●語り芝居「高杉晋作と望東尼

そして幕末・維新の防府」

6月23日 於アスピラート、約600人

〔事業名〕毛利邸で和を愉しむプレミアム

(旧毛利家本邸を舞台として和文化の体験)

○9月15日(土)～17日(月)

●お茶席と茶道の要点前体験(防府茶道連盟)

●いけばな展といけばなの体験(防府市華道連盟)

○9月22日(土)～23日(日)

●盆栽の鑑賞(防府盆栽会)

主なものを取り上げましたが、文化協会のみなさまには、随所でお世話になつていふことと思ひます。どうか防府市の明治維新百五十年事業をもち立てて頂きますよう、お願いいたします。

地区文化祭開催予定

地区文化祭開催日一覧

公民館名	開催日	場所	開始時間
牟礼	10月21日(日)	牟礼公民館	9時
右田	10月21日(日)	右田公民館	9時
勝間	10月27日(土) 28日(日)	勝間公民館	27日 13時 28日 9時45分
新田	10月28日(日)	新田公民館	10時
野島	10月28日(日)	野島小中学校	9時30分
佐波	11月3日(土)	佐波公民館	9時30分
華浦	11月3日(土) 4日(日)	華浦公民館	3日 9時 4日 13時30分
富海	11月4日(日)	富海公民館	9時
西浦	11月4日(日)	西浦公民館 JAふれあい 西浦支所	9時
華城	11月10日(土) 11日(日)	華城公民館	9時
向島	11月11日(日)	向島公民館 向島小学校	9時
中関	11月11日(日)	中関小学校	8時30分
小野	11月11日(日)	小野小学校	9時
大道	11月11日(日)	大道小学校	9時
松崎	11月18日(日)	松崎小学校	9時30分

どうぞお誘い合わせの上お越し下さい。
※詳細については、各公民館へ
お問合わせ下さい。

◆防府市公会堂改修工事日程について◆

平成三十一年一月一日～

平成三十二年三月まで(予定)

防府市公会堂は、耐震改修工事を平成三十一年一月一日から平成三十二年三月まで実施予定のためその期間は使用できません。

再開の時期は、市の広報紙「ほうふ」及び防府市役所のホームページでお知らせされる予定です。

◆二十周年記念誌の寄稿について◆

防府市文化協会では、二十周年記念誌を平成三十一年三月に刊行する予定です。各文化団体において、行事・活動についてPRを希望される団体は、一月末までに原稿300字程度と写真を添えて、事務局までお寄せ下さい。

なお、紙面の都合上等で、一部割合や掲載が難しい場合もありますが、ご了承下さい。お待ちしております。



やまぐち文化プログラム協賛事業 第四十九回防府市民文化祭

行事名	とき	ところ	入場料
盆栽展	10月13日(土) 14日(日) 9時～15時	防府市公会堂	無料
第23回ビデオ作品上映会	10月21日(日) 13時30分～16時	イオンシネマ防府	無料
第29回洋舞フェスティバル	10月21日(日) 13時～16時30分	防府市公会堂	300円
市民音楽祭	10月28日(日) 13時～16時30分	アスピラート	無料
邦楽の会	11月4日(日) 10時～16時	防府市公会堂	500円
華道展	11月16日(金) ～18日(日) 10時～17時	アスピラート 2階展示ホール	無料
市民茶会席	11月16日(金) ～18日(日) 10時～16時	アスピラート 2階リハーサル室	席料 300円
健康相談	11月17日(土) 18日(日) 10時～15時	アスピラート 2階展示ホール横	無料
第68回市美術展	12月5日(水) ～9日(日) 9時～17時 但し5日のみ 10時～17時	アスピラート 2階展示ホール	無料

防府市立 中学校の 文化祭日程



- 十月二十一日(日) 防府市立富海中学校
- 十月二十七日(土) 牟礼中学校
- 十月二十七日(土) 小野中学校
- 十月二十七日(土) 大道中学校
- 十月二十七日(土) 佐波中学校
- 十月二十八日(日) 国府中学校
- 十月二十八日(日) 桑山中学校
- 十月二十八日(日) 野島中学校
- 十月二十八日(日) 華陽中学校
- 十月二十八日(日) 華西中学校
- 十月二十八日(日) 右田中学校

常時文化協会会員募集

防府市文化協会は、みなさんの文化・芸術に関する発表事業及び研究・顕彰・啓発事業のお手伝いをする団体です。

《年会費》
 団体会員(第一号会員) 三千円
 個人会員(第二号会員) 千五百円

《会員の特典》
 *個人会員
 ①年一回の主催事業への無料招待及び割引招待
 *団体会員

①加入団体の各種行事に対する文化協会の共催・後援
 ②文化福祉会館・公民館の施設(文化福祉会館大会議室を除く)月一回一区分無料利用

ただし、電気代等実費利用分は有料となりますので、申し込まれる時に必ず各施設にご確認ください。

《入会方法》
 「入会申込書」に会費を添えて文化協会事務局へ。なお、団体会員については、会員名簿(氏名のみ)を必ず添付してください。

《期限》
 年度の4/1～翌3/31までの一年間(年度ごと更新)

《問い合わせ》
 防府市文化協会事務局
 (防府市文化財郷土資料館三階)
 TEL/FAX:二二六-一六八四(一)

※申込書は、市文化・スポーツ課のホームページからダウンロードできます。

編集

- 委員長 窪田 耕二
- 委員 竹尾耶衣子
- 佐藤 文彌
- 河内山宗厚

発行

千七四七〇八〇八

防府市桑山二丁目一
 防府市文化財郷土資料館
 三階 防府市文化協会
 TEL/FAX〇八三五
 (二六)六八四一

平成三十年九月

編集後記



防府市文化協会には160余団体、8500人、県内では下関に次ぐ加盟者がいます。文化協会だよりは加入団体の情報交流、それぞれの活動を外部に知らせるPRや、仲間集めに活用していただきたいと一昨年からは春秋の2回発行しています。

情報手段がスマホ、メール、フェイスブックと多種多様になり、今や小学校でもパソコン教育が取り入れられる新しい情報時代、掲載内容を拡散していただければと希望しています。